

「食品の安全に関するリスクコミュニケーション」の開催実績

開催年月日	消費者庁等の共催 又は単独開催の別	テーマ・議題	テーマ・議題の 選定理由	参加者数	参加者 募集方法	開催したことによる 効果・評価
H17.2.16	単	「食品に関するリスクコミュニケーション会議」 ～食品の表示について～ (アレルギー表示, 原産地表示等)	平成15年7月の食品衛生法及びJAS法に基づく表示基準の改正があったため	20	消費者・製造者等の団体に依頼	消費者・事業者・行政という立場の違う人たちが一同に介し意見交換が出来た。
H18.6.21	単	「食品に関するリスクコミュニケーション会議」 ～ポジティブリスト制度他について～	ポジティブリスト制度について関心が高まっているため	8	消費者・製造者等の団体に依頼	消費者・事業者・行政という立場の違う人たちが一同に介し意見交換が出来た。
H20.7.2	単	「食品に関するリスクコミュニケーション会議」 ～いっしょに考えましょう！食の安全～ (食品の表示, 輸入食品の安全性等)	省庁ごとの縦割りになっている食品表示関連の法令を一本化し、「食品表示法(仮称)」を新たに作るよう国民生活審議会が提案したため	42	消費者・製造者等の団体に依頼	消費者・事業者・行政という立場の違う人たちが一同に介し意見交換が出来た。
H21.8.26	単	「食品に関するリスクコミュニケーション会議」 ～地産地消への取り組み～	昨年から、産地偽装、日付の改ざん等の食品の偽装表示、使い回し等不衛生な取扱い事例が多発したため	37	消費者・製造者等の団体に依頼	消費者・事業者・行政という立場の違う人たちが一同に介し意見交換が出来た。養鰻業等の講演あり。
H22.9.9	単	「食品に関するリスクコミュニケーション会議」 ～食中毒を防ぎましょう～ ～輸入食品の安全確保について～	輸入食品に対しては、関心・不安が共に高いため	39	消費者・製造者等の団体に依頼	消費者・事業者・行政という立場の違う人たちが一同に介し意見交換が出来た。広島検疫所の講演あり。
H23.9.27	単	「食品に関するリスクコミュニケーション会議」 ～食品の「生食」について考える～	「生食用食肉」の新基準がH23.10.1から施行されるため。	22	消費者・製造者等の団体に依頼	消費者・事業者・行政という立場の違う人たちが一同に介し意見交換が出来た。
H24.12.4	単	「食の安心・安全を考えるワークショップ」 ～人に食品を提供する時の注意点～	地域住民に対して食事を提供する行事を控えていたため。	11	市立の高等学校へ直接依頼	授業で学んでいた事項もあったがワークショップをきっかけに知識を整理・定着することが出来た。
H26.1.31	単	「食の安心・安全を考えるワークショップ」 ～食品添加物との付き合い方～	着色料の種類の違う菓子製造の実演が可能になったため。	11	市立の高等学校へ直接依頼	自ら食品添加物と向かい合っている菓子職人の実演・講義は、生徒たちに説得力があった。
H26.11.28	呉市 内閣府 との共催	「ジュニア食品安全ゼミナール」	内閣府食品安全委員会が経費負担する事業に採択されたため	110	中学校に協力校の募集	食品安全委員会委員と呉市立天応中学校生徒と意見交換することが出来た。